

西牧総領事のマルマラ大地震20周年追悼式典への出席 (報告)

【日時】2019年8月16日(金)

【場所】コジャエリ県ギョルジュック市(マルマラ大地震の震源地周辺地)

- 8月16日、西牧総領事は、マルマラ大地震の震源地周辺地であるコジャエリ県ギョルジュック市において、ギョルジュック市及び同市商工会議所附属救急隊協会が主催したマルマラ大地震20周年追悼式典に出席しました。式典では、同地震でお亡くなりになられた方々を追悼するとともに、将来の地震に対する準備の必要性についても言及されました。
- 同式典でスピーチを行った西牧総領事からは、マルマラ大地震に対する日本からの支援について、地震発生当時、当館首席領事として支援業務に携わっていた個人的な経験も紹介されました。さらに、2011年の東日本大震災の際にトルコから派遣された救援隊等の支援について謝意を述べ、「雨天の友」として互いに助け合った日本とトルコの友好関係について言及がありました。
- コジャエリ県選出のシュケル国会議員、ゼイベキ国会議員、ビュルクン・コジャエリ市長、セゼル・ギョルジュック市長等トルコ側関係者の多くから日本の支援について謝意が示されました。

